

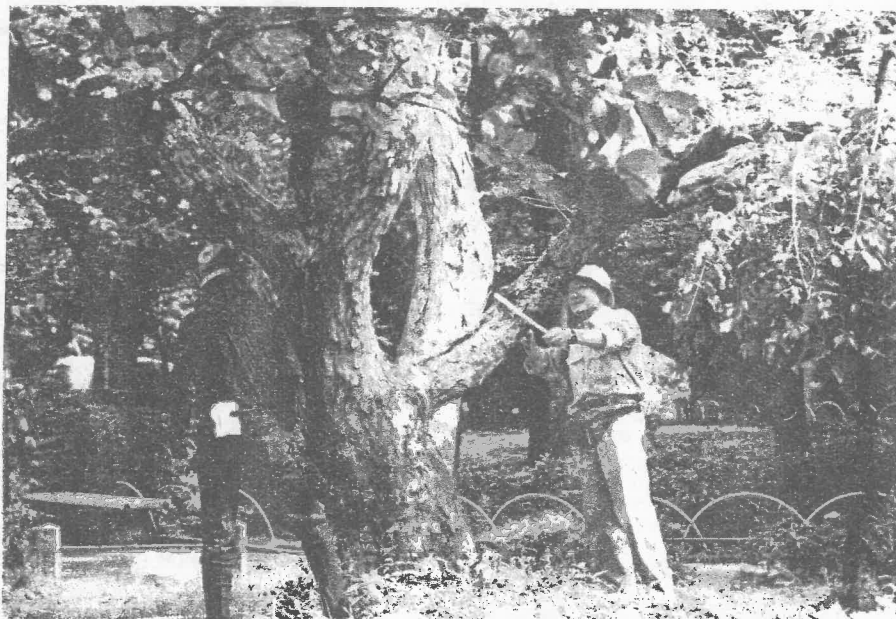
ふ き た さ と 吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議◆代表/小田忠文◆事務局/564吹田市内本町2-18-8 ☎06-319-0630 小田(18時以降)

◆年会費/1000円 ◆振り込み先/00980-3-28845 すいた市民環境会議

🌳 🌳 『吹田の古木・大木』調査 🌳 🌳

「すいた市民環境会議」では、「吹田自然観察会」と協力し吹田市内の古木・大木を保護して行くための調査を開始しました。調査対象は、幹回り2m以上の大木か、それ以下でも特別な呼び名やエピソードを持つ木。調査結果は、「緑のマップ」にしました。



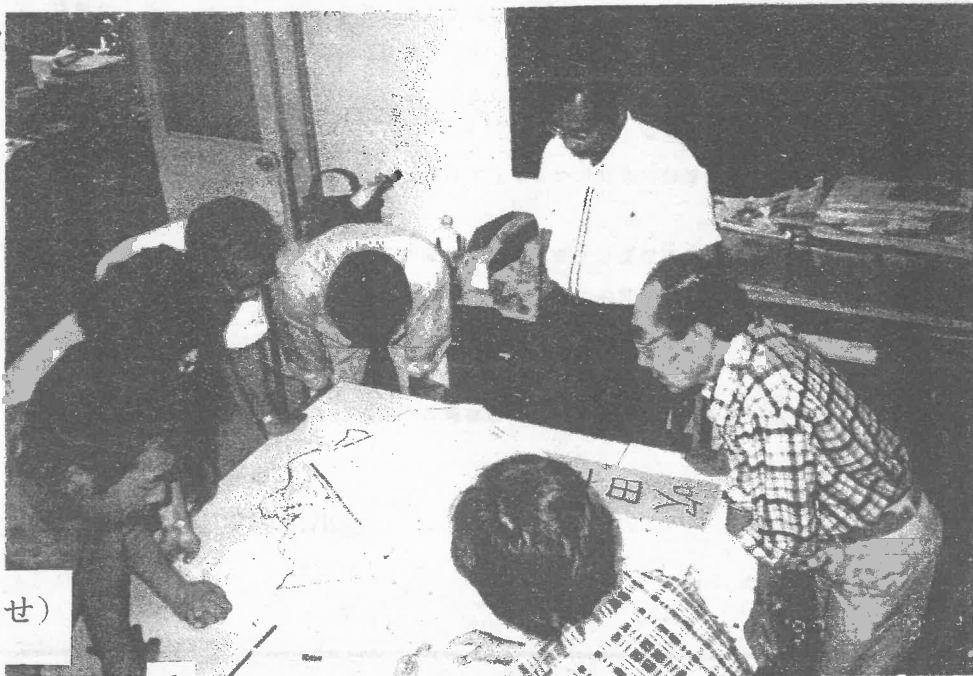
(トウカエデを計測中)

《9/5現在の調査結果》

幹回り2m以上	387本
樹木種類	38種
クスノキ	135本
アベマキ	40"
エノキ	31"
サクラ	31"
ポプラ	18"
アラカシ	15"
コナラ	15"
ムクノキ	11"
シイノキ	10"
イチョウ	10"

《マスコミによる調査の紹介》

- ・サンケイ新聞(8/19)
- ・朝日新聞(8/22)
- ・千里タイムス(8/22)
- ・市報すいた(8/25)
- ・NHK(9/3放映)
- ・吹田ケーブルテレビ
(10/10~16放映予定)他



(吹田市の地図を前に打ち合わせ)



すいた市民環境会議
会長 小田 忠文様

吹田市長 岸田 恒夫



環境行政に対する要望について (回答)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本市発展のためご協力賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、平成9年 7月25日に受付させていただきました標記のことにつ

きまして、別紙のとおり回答いたしますので、ご了承くださいますようお願い

申し上げます。



吹田市では、市民の方々が安全で健康かつ快適な環境の中で生活されるよう、平成6年8月快適環境推進構想を策定し、人と自然が共生できる快適な生態系重視の環境づくりを進めています。

ここ数年、本市におきましても地球規模の環境問題や高齢化社会の進展、市民の価値観の多様化など、環境を取り巻く社会の状況も大きく変化しています。

そして去る3月、吹田市環境基本条例を制定し、市民、事業者及び行政のすべての者が、より一層の英知と総力を結集して、環境の保全と創造に取り組み、市民が日々安全で健康かつ快適な環境の中で文化的な生活を営むことこそ最重要課題であると基本理念として位置づけております。

そのためには、市民参画で、環境を考え施策を展開することが不可欠な時代にあって、生活環境を良好な状況に保つため、活発な活動を行っている貴団体のような環境団体が、市、事業者と共に協力しながら今後の環境の保全と創造をしようとすることは、大きな意義と活力をもつものと考えます。

一点目の法人格をもった組織の設立につきましてお答え申し上げます。

今後、市民、事業者、行政が協働して環境問題を推進するため、行政、市民団体、教育機関、緑化関係団体等がともに、相互連携を図り、広範囲にわたり効果的に実効性のある活動を展開することが大切です。

このため、市では、環境行政を推進する体制の整備の一環とし



て、環境の保全と創造を促進するため、市民、事業者への活動の支援、情報や学習機会の提供、緑化推進の組織など、市民、事業者、行政が連携、協働し、活動できる場としての法人組織化等、将来のあり方を検討中でございます。そして、有効かつ効率的な環境行政が行えるよう整備に努めてまいりたいと存じます。

二点目の生き物調査につきましてお答えいたします。

環境基本条例及びみどりの基本計画に基づき、次世代に引き継ぎ、人と自然が共生するみどり豊かなまちづくりを推進してまいり努力をいたしております。

そのため、今年度は紫金山公園整備に関連してコバノミツバツツジやカスミザクラなどの保全を目的とした、植生調査として、野鳥や魚、昆虫を含めた生態調査を実施しています。

今後、こうした生き物調査を年次的、計画的に分野を広めデータ蓄積が必要と考えています。

<縮小コピーにつき読みにくい点、申し訳ございません>



すいた市民環境会議
会長 小田 長之



環境行政に対する 要 望 書

吹田市の良好な環境保全に努力されていることに敬意を表します。
すいた市民環境会議は、本年3月に吹田市の自然や歴史的、文化的な施設の保全、創造を目的に発足した市民組織です。

私たちは環境に優しい吹田市をつくるために行政と共に努力していく所存ですが、市民も行政も事業者においても、環境への取り組みの歴史は浅く、多くの課題が残されています。

つきましては、市の環境行政に対し、以下の要望書を提出いたしますので、回答くださいますようお願いいたします。

1. 自然環境や歴史的・文化的な施設の保全については、法人格をもった組織で運営する必要がありますので、早急に設立していただくよう要望いたします。

吹田市は、97年4月に「環境基本条例」を施行し、さらに、「いきいき吹田・みどりの基本計画」を発表しています。その中には、市民参画の仕組みとして「法人組織の設立」（第IV章4項）をすでに提起されています。現在それらの事業の具体化を計っていることと思います。

環境関係は市役所の組織でも部門が多岐にわたり、有効かつ効率的な行政運営が十分機能しにくい現状にあるのではないのでしょうか。また、自然環境の保全や民有地の緑化推進等では市では対応しにくい分野を補うような仕組みをつくること、都市化が進んでしまっている吹田市に求められています。

そこで、この体制及び仕組みづくりを積極的に推進する母体として、法人格の組織が必要になっているのです。

私たち「すいた市民環境会議」は市民の立場から、環境保全に取り組んでいきますが、長期的、総合的な施策を推進するためにも、法人格の組織を、市が関与して早急に設立されるよう要望いたします。

2. 吹田市内に生息している生き物の実態把握をするために、生き物調査を市で取り組んでいただくよう要望いたします。

吹田市環境基本条例の基本方針に「多様な自然環境の保全及び回復を図ることにより、人間と自然とが共生する良好な環境を確保すること」（第2章第7条2項）と明記されています。

しかし、吹田市の自然を構成している生き物たちの実態を知らずして「人間と自然とが共生する」ことはできません。

吹田市には、昔からある樹林や大木、身近な植物や野鳥、昆虫などの基本的なデータが絶対的に不足しています。

環境庁は、毎年のように緑の国勢調査で、市民参加という形で生き物たちの全国調査をしていますし、吹田市の近隣都市でも環境教育の一環として市民参加で様々な生き物調査がおこなわれています。特に、保存樹の指定のために古木や大木調査は、かなりの市ですでに実施されています。

吹田市の自然が毎年のように破壊され少なくなっている現状の中で、市としても、組織的、長期的な視野に立って、市内に生息している様々な生き物たちの実態調査を早急に行うべきです。そして、その調査は市民参加で大規模におこない、市民にも自然環境を考え、認識を深めてもらえるように取り組んでいくことが重要だと考えます。

「すいた市民環境会議」では、吹田市長ならびに吹田市議会議長（同内容のものを提出しました）あてに『環境行政にたいする要望書』を提出し、その回答を吹田市長より頂きました。

宝塚の病院勤務の外科医師。万博の年に医学部卒業。卒後6年間愛媛県で研修。吹田に戻って都市や自然環境の変化に唖然。環境問題に関心を持つようになる。今後30年でどこまで戻せるだろうか。変化の少ない夜空の『☆』に興味あり。 小田 忠文

最近、吹田の環境問題と同じぐらいに自然史(人間の歴史も含めて)に興味をもちています。開発に伴い各地で縄文だの、旧石器時代の遺跡が発掘され、とても刺激的で年を取る間もないくらい(少しキザかな)です。 浅田 都司男

草花を育てることが好きで、ちょっと入会。いきなり大木調査に一戸惑いをかくしきれない日々。在宅時間が減った分、知人が増えた。 熱田 克子

吹田市の自然環境を保全し、自然を愛する人達が多くなることを願っている。吹田の山田中学校で理科を教えているが、環境教育の重要性を身にしみている。(社)大阪自然環境保全協会や吹田自然観察会の会員で仕事以外の自分の時間は、ほとんど環境問題に使っている感じだ。環境問題に接している人は、楽しい優しい人が多い。吹田市の環境ネットワークの充実を期待したい。 高畠 耕一郎

私達が住んでいる街、働いている街“吹田”が好き。そして、そうあり続けたいと思っています。“吹田”の街づくり、人づくりを一部の人達に委ねたままでは、いけないと思ひ、私達は、私達の役割を果たすべく、より良い“吹田”を夢描き、微力ながら活動しています。 橋本 徹也

住んでいる周辺の、大木・みどりが消えて行くなか、次世代のためにも——この度の“古木大木調査”で吹田の緑や、自然環境を少しでも取り戻すきっかけになればと思ひ願っています。身近な暮らしの中から消費問題や環境問題を、ささやかながらも活動しています。 菅原 節子

芝生に寝転んで青空を見上げていると、白い雲の中を流れて行く黒い点—9月下旬~10月上旬に吹田市内でも観察することがある鷹(サシバ・ハチクマ等)が南に渡って行く感動的なシーン。日本野鳥の会が万博公園定例探鳥会を開始して13年。今後は吹田市のいろんな分野での感動シーンを体験したい。 平 軍二



川の汚れが気になり出して20数年。まず身じかな生活の見直しからと千里山生協の組合員と共に、石けん運動・環境マップ作り自然環境と“ますます深みにはまって”行きます。地道で息の長い活動をモットーとしています。 西尾 熱子

安めのブルマンを飲みながら、音楽を聞いたり、本を読むのが好きです。見るものではD・リーンの映画や冬の星座がいい。それから、雪の山を歩くのが大好きです。お察しのとおり、半分も実行できてはおりませんが-----。 黒沢 孝

猪突猛進の性格。高校で週2日養護教諭として勤務。北海道生まれで土いじりが好き動物大好き人間。盲導犬の育成にかかわり始めている。今年初めてカトレアと胡蝶蘭を温室なしで咲かせ鼻高々。旧庄屋屋敷保存活用会、諫早湾を考える大阪の会、知床100m²運動にかかわっている。 小田 信子

人間が生きること全てが、環境に係わっているということを意識し、自分を取りまくあらゆる出来事がつながっていて、いつも感謝し、学び、生かされていることが、感じられたらと願っています。

◇EM（有用微生物）の力を借りて、ベランダで生ゴミを堆肥にし、その液肥で草木・野菜を育てています。

◇工事現場・粗大ゴミからの材木や端材を家具に作りかえる。

◇公園や街路樹の剪定した枝・葉・木の実を使ったオブジェを作っています。

◇吹田市に住む虫・鳥、また樹木・草を観察し、特に“ヒラガタクワガタ”については、庭で自然繁殖場をつくり、増やしています。

◇着なくなった服や雑貨はフリーマーケットで売ったり、買ったり。

◇洗剤・石けん・薬品・化学製品は、できるだけ使わない。

◇加工食品をできるだけ食べない。毎日、あら塩でうがいをし、鼻から出し風邪やアレルギーの予防をしています。

その他いろいろあると思いますが、これ位にします。しかし大事なことは、心の問題だと思っています。

小室 巧

☆ 会員の小室さんから、原稿を頂きましたので、ここに掲載させて頂きました。

☆ 会員の皆様の思い=自然・環境問題などを、お寄せください。 100字程度で



「国鉄清算事業団がJR大阪駅北側にある梅田貨物駅の貨物機能の約半分を吹田市と摂津市にまたがる吹田操車場跡地に移転する案を示した-----」という新聞報道に「すいた市民環境会議」幹事会は、講師を招き『環境アセスメント』について学習、話し合いをおこない、吹田市長あてに『環境アセスメント条例』制定の要望書を提出し回答を頂きました。

1997年7月7日

吹田市長 岸田 恒夫殿



すいた市民環境会議会長
☎564 吹田■■■■■

要 望 書

環境問題に関し、吹田市が従来型の単なる「公害防止の立場」だけでなく「良好な環境の享受」とし、「環境権」を認め、緑にとどまらず、歴史的、文化的環境、都市景観をも含めた「環境基本条例」を制定されたことに、すいた市民環境会議として敬意を表します。

環境基本条例第5条にうたわれている「事業者の債務」、第11条の「環境影響評価に係る措置」を具現化するために「環境アセスメント条例」を早急に制定していただきたい。また、アセスメント実施過程の途中で、地区住民に限らず吹田市民の意見を聞く場を持つことを盛り込んでいただくのはもちろん、アセスメントの公開および事業既遂後の追跡調査を義務とすることを強く要望いたします。

9吹活広第1072号
平成9年 8月 6日



すいた市民環境会議
会長 小田 忠 文 様

吹田市長 岸田 恒夫



「環境アセスメント条例」制定の要望書について
(回 答)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は本市行政発展のためご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、平成9年7月10日に受付させていただきました標記のことにつきまして、下記のとおり回答させていただきます。

記

本年3月に制定しました「吹田市環境基本条例」第11条に環境影響評価に係る措置を講ずることを規定しておりまして、環境影響評価制度を具体的に推進するため、その方策について鋭意検討を進めています。
現在、住民が生活する上で環境基準を達成することはもちろん、環境を悪化させない立場に立つ必要があります。こうした環境保全の見地から、住民の意見の反映、より早い段階における情報公開は当然と考えています。
また、事業実施後の調査などを盛り込み、本市の状況に即した制度化を図ってまいりたいと考えております。

“ある朝の 鴟聞きしより 日々の鴟 安住 敦”

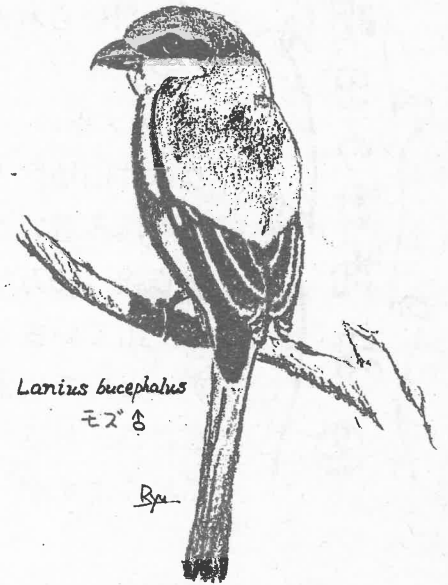
モズ「百舌鳥、鴟」(モズ科)

夏の間はほとんど声を聞なかったモズが、秋の訪れと共に周囲で一番高い所から、キー・キー、キチ・キチ・キチと金切り声を上げ、長い尾をゆっくり振り回しながら縄張り宣言。

季語として有名な“モズの高鳴き”は初秋のある日から毎日、続け聞くことができる。

大阪府の鳥に指定されているモズは、百舌を冠とした地名の多い府南部(堺市)などで数多く生息しているが、吹田旧市内、千里ニュータウンでも観察できる普通の鳥である。

通常モズは、草はらの杭など周囲を見通せる1~2m位の高さから地上を見下ろし、見つけたコオロギ・バッタ・カエルなどを鷹のように鋭い嘴で捕まえて食べる動物食の鳥で、時にはスズメの雛を襲うことがある。尚、モズは百舌鳥と書かれるくらい他の鳥の鳴きまねが上手で、名前の由来となっているが、この習性を観察できるのは秋よりもむしろ春である。



Lanius bucephalus
モズ♂

平 軍二 (日本野鳥の会)

新入会員紹介 (敬称略) 会員数 97.9.30 現在 110人

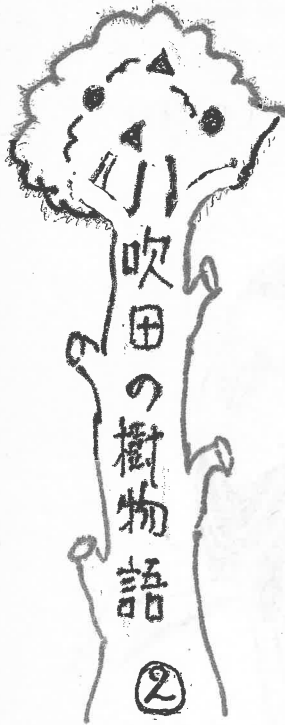
石川 信行 高山 隼 巽 京子 月田 桂一 宮島 康芳 森 一人
三輪 信哉 林 捷子

お知らせ

- ☆ 10月 18日(土)19日(日) am10:00~pm4:00
第13回大阪府都市緑化フェア参加 (江坂公園)
- ☆ 10月 30日(木)31日(金)
第11回環境保全活動研究会協力
- ☆ 11月 30日(日) am8:00~pm5:00
滋賀県立琵琶湖博物館研修 (詳しくは別紙参照)

『すいた市民環境会議』入会受付中

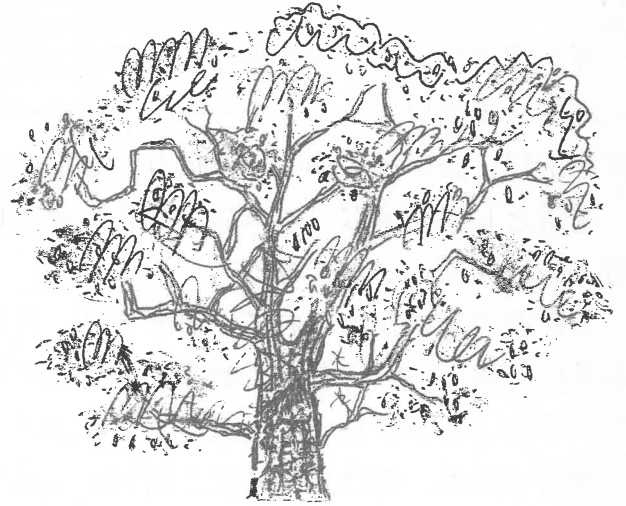
- ◆ 郵便振り込み先 00980-3-28845「すいた市民環境会議」
- ◆ お問い合わせ 小田 信子 ☎ 06-319-0630 (18時~22時)



クスノキは日本本土（関東～沖縄）と中国に主に分布する暖地性の常緑高木。花は5～6月、樹全体に芳香があり成長も早く、昔から虫よけの樟脳を採ったり、家具の材料にも用いられた。現在、吹田市のシンボルツリーとなっている。

「クスノキの一人言」-----この辺りは片山地区と共に最も古くから人の住み着いた所といわれ、近くから約 1,5万年前の石器や石ヤジリが出ています。私自身はずっとずっと後で生まれ、今は神木だと言われ、お陰で何とか生き永らえておりますが -----浅田都司男
(吹田自然観察会)

《 岸辺北5丁目のクスノキ 》



◆幹廻り---2.5m 樹高---20m◆

《シリーズ環境への取り組み・こだわり》

新御堂筋を考える会

新御堂筋を、市民が誇れる都市景観街路に、創成することと、その周辺の千里山竹園春日地区の優れた自然環境を保全しつつ「文化のまち」にふさわしい街作りを進めることを目的とする会です。

吹田市の目指す「すこやかで 心ふれあう 文化のまち」に向けて、人と自然が共生し人に潤いや活気を与えてくれるまちなみ、そこに住む住人が誇りに思い、生活を楽しめる街づくりを考えて行きたい。

代表幹事 松岡 要三 (番 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇 〇〇〇〇〇〇〇)

広村 知幸 (番 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇 〇〇〇〇〇〇〇)

黒田 能弘 (番 〇〇〇〇〇〇〇〇 〇 〇〇〇〇〇〇〇)

- ◎ 幹事会 10月21日(火) pm6:30~9:00 市民会館/第六会議室
- 11月15日(土) pm1:30~4:00 ”
- 12月20日(土) pm1:30~4:00 ”
- 1月17日(土) pm1:30~4:00 未定
- 2月14日(土) pm1:30~4:00 ”

< 幹事会は、オブザーバーで誰でも参加ができます。 >

